

U-Buddy Chat利用規約

第1条（目的）

1. この利用規約（以下「本規約」といいます。）は、株式会社USEN WORK WELL（以下「当社」といいます。）が提供するU-Buddy Chatサービス（付帯するオプションサービスを含み、以下「本サービス」といいます。）を利用するユーザー（第2条で定義します。）に適用されます。ユーザーは、本規約に同意の上、本サービスを利用するものとします。
2. 本規約は、本サービスの利用条件を定めています。本サービスに利用登録をしたユーザーは本規約に従い、本規約の定める条件に従って本サービスを利用します。
3. ユーザーは、自らの従業員に対し、本規約に基づきユーザーが負う義務を遵守させるものとします。

第2条（定義）

本規約において使用する以下の用語は、以下の各号に定める意味を有します。

- (1) 「本契約」: 本規約を契約条件として当社及びユーザーとの間で締結される、本サービスの利用契約を指します。
- (2) 「ユーザー」: 本サービスのユーザー登録をしている全ての方を指します。
- (3) 「通信機器」: スマートフォン、タブレット端末及びコンピューター機器を指します。

第3条（ユーザー登録）

1. 本サービスのユーザーになろうとする方（以下「申込者」といいます。）は、本規約の内容に同意の上、当社が定める手続により利用申込みを行うものとします。当社は、申込情報に基づきユーザー登録を行います。なお、申込者は、申込手続完了後のキャンセルはできないものとします。
2. ユーザーは、前項に基づき登録した情報に変更が発生した場合、直ちに、登録情報の変更を当社に通知する義務を負います。
3. 当社は、当社の裁量により、ユーザー登録を拒否する場合があります。

第4条（ID及びパスワードの管理）

1. ユーザー登録完了後、当社はユーザーのID及びパスワード（以下、総称して「アカウント」といいます。）を発行します。当社がユーザーにアカウント発行の通知をした日（以下「アカウント付与日」といいます。）に本契約は成立するものとします。
2. ユーザーは、アカウントを厳重に管理するものとし、これを第三者に貸与、譲渡、名義変更、売買その他の方法をもって利用させてはならないものとします。
3. アカウントの管理が不十分なことにより、ユーザーが損害又は不利益を被ったとしても、当社は一切の責任を負いません。
4. アカウントを紛失又は忘失した場合、又はこれらが第三者に使用されていることが判明した場合、ユーザーは、直ちにその旨を当社に通知するものとします。
5. 当社は、発行したアカウントによる本サービスの利用の一切につき、ユーザーによる真正な利用か否かにかかわらず、ユーザー本人の行為とみなすものとし、ユーザーは当該行為の結果生じる一切の責任を負担するものとします。
6. 前各項にかかわらず、ユーザーは、次の各号の条件に従い、Google, Inc. が提供するGoogleアカウント及びパスワード（以下総称して「Googleアカウント情報」といいます。）を連携して、本サービスを利用することができます。
 - (1) ユーザーは、Googleアカウント情報の連携に際し、Googleアカウントに登録されたユーザーに関する情報（名前、登録したメールアドレス、電話番号等）を当社が取得し、本サービスへのアクセスに際し利用することを承諾するものとします。
 - (2) ユーザーは、自らがGoogleアカウントを削除した場合やGoogle, Inc. がGoogleアカウントの仕様を変更した場合等、Googleアカウント側の事情により一時的又は永続的に本サービスが利用できなくなる場合があることを承諾するものとします。

ます。

- (3) ユーザーは、Googleアカウントの利用に際し、Google,Inc.が定める各規約を遵守するものとします。
- (4) 本条第2項から第5項の規定は、「アカウント」を「Googleアカウント情報」に読み替えて準用するものとします。

第5条（通信機器に関する管理）

1. ユーザーは、本サービスの提供を受けるために必要な機器、通信手段及び交通手段等の環境を全て自らの費用と責任で備えます。また、本サービスの利用にあたり必要となる通信費用は、全てユーザーの負担とします。
2. ユーザーは、通信機器の管理責任を負います。通信機器の管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用等による損害の責任はユーザーが負い、当社は当社に故意又は過失のない限り一切の責任を負いません。
3. ユーザーは、通信機器を第三者に使用されるおそれのある場合は、直ちに当社にその旨を連絡するとともに、当社の指示があるときはこれに従います。

第6条（U-Buddy Chatの利用）

1. 本サービスは、ユーザーが企業の日常業務をサポートする生成AIアプリケーションである本サービスにアクセスし、情報（指示や質問を含む文章、画像及び動画を含みますが、これに限られません。以下、総称して「プロンプト」といいます。）を入力し、当該プロンプトに基づき本サービスから生成される回答（以下「生成物」といいます。）を受け取ることができるサービスです。
2. ユーザーは、プロンプト及び生成物が適用される法令及び本規約に違反していないことを確認する等の管理責任を負います。
3. ユーザーは、自らの従業員に対し、本規約及び本契約を遵守させるものとします。
4. 当社は、ユーザーの同意なく、プロンプトを生成AIの学習に利用することはありません。ただし、ユーザーは、プロンプトに個人情報保護法に定める個人情報その他の機密性の高い情報が含まれないよう十分注意するものとします。なお、ユーザーが入力したプロンプトにより、ユーザーまたは第三者に損害が生じた場合、当社は一切の責任を負わないものとします。
5. 本サービスは日本国内向けのサービスです。当社は、日本国外に本サービスを提供する義務を負いません。
6. 当社は、ユーザーが、本サービスを次の方法又は用途に利用することを禁止します。
 - (1) 本サービスが予定している利用形態（企業の日常業務のサポート）を逸脱する方法で利用すること
 - (2) 他者のプライバシーや著作権等の権利を侵害する又は侵害するおそれのある方法で本サービスを利用すること
 - (3) 他者に対し誤った事実を伝える、誤解を与える又は欺くことを目的として利用すること
 - (4) 次の内容を含む生成物を生成する目的で利用すること
 - ① わいせつ、グロテスク、暴力的又は犯罪を奨励するような内容
 - ② 人の名誉を毀損し、又は不快にさせる内容
 - ③ その他、一般的な倫理又は常識に照らして不適切な内容
 - (5) 生成物を自動又はプログラムにより生成すること

第7条（従業員へのアカウントの付与等）

1. ユーザーの従業員が本サービスを利用するためには、当社が、その従業員の使用するメールアドレスにアカウントを付与する必要があります。
2. ユーザーは、本契約の有効期間中に、自己の従業員へのアカウントの付与、アカウントの削除及びアカウントの付け替え（ユーザーの従業員が使用する複数のメールアドレスのうち、アカウントを割り当てられているメールアドレスからそのアカウントを削除し、その者の別のメールアドレスへアカウントを割り当てなおすことをいいます。）を希望するときは、これを

当社に請求することができるものとします。

3. ユーザーは、当社が業務上の都合により前項への請求への対応に数営業日を要することがあることをあらかじめ了承するものとします。

第 8 条（利用料金）

1. 本サービスの利用料金は、当社が別途定める料金表に従います。
2. 利用料金はアカウント付与日から本契約の期間満了日まで発生するものとし、ユーザーは、当社が定める方法でのみ、本サービスに係る利用料金の決済を行うことができます。
3. 本サービスに係る利用料金の決済は、ストライプジャパン株式会社（以下「ストライプ」といいます。）が提供する決済サービス（以下「本決済サービス」といいます。）を利用しています。ユーザーは、自らの責任と費用において、ストライプが提供する決済ページに掲載された利用規約及びプライバシーポリシー等のユーザーに適用される規約を確認し、これに同意の上、本決済サービスを利用するものとします。
4. 前項にかかわらず、ユーザーは、当社が承諾をする場合に限り、請求書払いの方式により本サービスの利用料金の決済を行うことができます。なお、振込手数料はユーザーの負担とします。
5. 当社は、第17条第3項の場合又は当社がユーザーと別途合意した場合を除き、受領した利用料金を返金する義務を負わないものとします。

第 9 条（本サービスの停止又は変更）

当社は、メンテナンス等のために、ユーザーに通知することなく、本サービスを停止又は変更することがあります。

第 10 条 （知的財産権）

本サービス及び生成物に関する著作権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権その他一切の知的財産権及びこれらの権利の登録を受ける権利（以下総称して「知的財産権」といいます。）は、当社又は当社に利用を許諾する第三者に帰属し、ユーザーには帰属しません。当社は、ユーザーに対し本サービスを利用する上で必要な範囲内で当該知的財産権の利用を許諾します。

第 11 条 （提供データについて）

1. ユーザーが本サービス上において当社に提供する一切のデータ（プロンプトを含みますが、これに限られません。以下「提供データ」といいます。）は、当社が利用するクラウドサーバーに保存されます。
2. 当社は、提供データを以下のとおり扱います。
 - (1) 提供データへのアクセスは当社の業務上必要な範囲の役職員に限られます。また、本サービスの提供のために必要な範囲に限り、クラウドサービス提供者を含む外部事業者（第28条に定める第三者サービスの提供者を含みますが、これに限られません。）に対して提供データが送信される場合があります。
 - (2) 当社は、提供データを、本サービスの運営、維持、障害・インシデント対応、品質管理、並びに新機能の開発及びサービス改善等を目的として、社内において利用します。本規約に定める場合を除き、提供データそのものを社外に開示・提供することはありません。
 - (3) 当社は、提供データを利用し、特定の提供データの内容又は組織等との対応関係が排斥された統計情報を作成することができます。統計情報は、新機能の企画・開発等の社内利用のほか、営業資料等として社外に開示・提供することがあります。
3. ユーザーは、提供データについて、必要な情報は自己の責任で保全しておくものとします。当社は、提供データに関して、本サービスを提供する設備の故障等により滅失した場合に復元の義務を負うものではありません。また、ユーザーは、当社のクラウドサーバーに保存された提供データにつき、削除、訂正その他の請求をすることはできません。ただし、法令上別段の定めがある場合を除きます。

第 12 条 (第三者の知的財産権)

1. ユーザーは、提供データについて、第三者の知的財産権を侵害していないことを保証するものとします。
2. ユーザーが前項に定める保証に違反し、提供データが第三者の知的財産権を侵害し又はそのおそれがある場合には当社に対し速やかに通知するとともに自己の責任と費用負担において解決するものとします。

第 13 条 (禁止事項)

1. ユーザーは、本サービスの利用に際して、次の各号に定める行為をしてはなりません。
 - (1) 本規約に違反する行為
 - (2) 当社、当社がライセンスを受けているライセンサーその他第三者の知的財産権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、肖像権等の財産的又は人格的な権利を侵害する行為又はこれらを侵害するおそれのある行為
 - (3) 当社又は第三者に不利益若しくは損害を与える行為又はそのおそれのある行為
 - (4) 不当に他人の名誉や権利、信用を傷つける行為又はそのおそれのある行為
 - (5) 法令又は条例等に違反する行為
 - (6) 公序良俗に反する行為若しくはそのおそれのある行為又は公序良俗に反するおそれのある情報を他のユーザーその他の第三者に提供する行為
 - (7) 犯罪行為、犯罪行為に結びつく行為若しくはこれを助長する行為又はそのおそれのある行為
 - (8) 事実と反する情報又は事実と反するおそれのある情報を提供する行為
 - (9) 当社のシステムへの不正アクセス、それに伴うプログラムコードの改ざん、位置情報の改ざん、故意に虚偽の情報を入力する行為、通信機器の仕様その他アプリケーションを利用したのチート行為、コンピューターウィルスの頒布その他本サービスの正常な運営を妨げる行為又はそのおそれのある行為
 - (10) 本サービス又は本サービスを構成し若しくはこれに付属する有形・無形の構成物(ソフトウェアプログラム、データベース、アイコン、画像、文章、マニュアル等の関連ドキュメントを含みます。以下「本サービス構成物」といいます。)に関する次に掲げる各行為、又はそのおそれのある行為
 - 1 本サービス構成物を本サービスの本来の用途以外に使用又は利用する行為
 - 2 本サービス構成物を他のサービス又は他の製品と組み合わせて、自ら使用若しくは利用し、又は、第三者に対し提供する行為
 - 3 本サービス構成物に関する情報、音声、動画及び画像等を、当社の許可なく、他社ウェブサイト及びSNS等に掲載する行為
 - 4 本サービス構成物が利用し又はこれを構成するネットワーク又はシステム等に過度な負荷をかける行為
 - 5 不正アクセス、クラッキングその他本サービス構成物の提供又は使用若しくは利用に支障を与える行為
 - 6 本サービス構成物について、解析、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルその他ソースコードを取得する行為
 - 7 本サービス構成物に不正なデータ又は命令を入力する行為
 - 8 本サービス構成物に関連して不正にデータを取得する行為
 - 9 本サービス構成物を用いた当社の事業活動を妨害する行為
 - (11) マクロ及び操作を自動化する機能やツール等を使用する行為
 - (12) 本サービスの信用を損なう行為又はそのおそれのある行為
 - (13) 青少年の心身及びその健全な育成に悪影響を及ぼすおそれのある行為
 - (14) 他のユーザーのアカウントの使用その他の方法により、第三者になりすまして本サービスを利用する行為
 - (15) 詐欺、預貯金口座及び携帯電話の違法な売買等の犯罪に結びつく又は結びつくおそれのある行為
 - (16) 犯罪収益に関する行為、テロ資金供与に関する行為又はその疑いがある行為
 - (17) 本サービスを日本国外にて利用する行為

- (18) その他当社が不相当と判断する行為
2. 当社は、ユーザーの行為が、第1項各号のいずれかに該当すると判断した場合、事前に通知することなく、次の各号のいずれか又は全ての措置を講じることができます。
- (1) 本サービスの利用制限
 - (2) 本契約の解除
 - (3) その他当社が必要と合理的に判断する行為

第14条 (解除)

1. 当社は、ユーザーが次の各号のいずれかに該当した場合、何らの通知等を要することなく、本契約を解除することができます。
- (1) 登録情報に虚偽の情報が含まれている場合
 - (2) 企業及び個人事業主以外がユーザー登録した場合
 - (3) 過去に当社から本契約を解除されたことがある場合
 - (4) ユーザーの相続人等からユーザーが死亡した旨の連絡があった場合又は当社がユーザーの死亡の事実を確認できた場合
 - (5) 未成年が法定代理人の同意なく、本サービスを利用した場合
 - (6) 成年被後見人、被保佐人又は被補助人が、成年後見人、保佐人又は補助人等の同意なく、本サービスを利用した場合
 - (7) 当社からの要請に対し誠実に対応しない場合
 - (8) その他当社が不相当と判断した場合
2. 前項各号に掲げる場合のほか、当社は、ユーザーに対して30日前までに事前に通知することにより、本契約を解除することができます。ユーザーは、本契約の有効期間中は、本契約を中途解約することはできません。
3. 第1項及び第2項の措置により本契約を解除した又は解除されたユーザーは、本契約の解除時に期限の利益を喪失し、直ちに、当社に対し負担する全ての債務を履行するものとします。

第15条 (非保証・免責)

1. 本サービスの内容について、その完全性、正確性及び有効性等について、当社は一切の保証をしません。また、当社は、本サービスに中断、中止その他の障害が生じないことを保証しません。
2. 当社は、生成物の信頼性、正確性、真実性、完全性や特定の目的への適合性等を一切保証しません。また、本サービスは、自然言語処理技術を用いた自動応答機能を提供するものであり、専門家の助言を代替するもの及び当社の見解を表明するものではありません。ユーザーは、生成物が生成AIにより生成されていることを踏まえ、生成物の正確性等を自ら評価の上、利用するものとします。
3. 当社は、生成物又は生成物の利用によりユーザーに損害が生じた場合であっても一切責任を負いません。
4. ユーザーが登録情報の変更を行わなかったことにより損害を被った場合でも、当社は一切の責任を負いません。
5. ユーザーは、法令の範囲内で本サービスを利用するものとします。本サービスの利用に関連してユーザーが日本又は外国の法令に触れた場合であっても、当社は一切の責任を負いません。
6. 予期しない不正アクセス等の行為によってユーザー情報(第4条に定めるアカウントその他ユーザーを識別できる情報をいいます。)を盗取された場合であっても、それによって生じるユーザーの損害等に対して、当社は一切の責任を負いません。
7. 当社は、天災、地変、火災、ストライキ、通商停止、戦争、内乱、感染症の流行、停電、電気通信回線の障害、サイバー攻撃その他の不可抗力により本契約の全部又は一部に不履行が発生した場合であっても、一切の責任を負いません。
8. 本サービスの利用に関し、ユーザーが他のユーザーその他の第三者との間でトラブル(本サービス内外を問いません。)になった場合であっても、当社は一切の責任を負わず、そのトラブルは、当該ユーザーが自らの費用と負担において解決するものとします。

第 16 条 (損害賠償責任)

1. ユーザーは、本規約の違反又は本サービスの利用に関連して当社に損害を与えた場合、当社に発生した損害(逸失利益及び弁護士費用を含みます。)を賠償するものとします。
2. 当社は、当社の帰責事由によりユーザーに損害を与えた場合であっても、当社に故意又は重過失のない限り、本サービスに関連して当該ユーザーが被った損害につき一切の責任を負いません。なお、当社が損害を賠償する場合は、損害発生日から直近1カ月の利用料金の累積総額を上限とします。

第 17 条 (本サービスの廃止)

1. 当社は、当社が本サービスの提供を廃止すべきと合理的に判断した場合、本サービスの提供を廃止することができるものとします。
2. 本サービスの提供の廃止について、当社は責任を負いません。
3. 前項にかかわらず、本条第1項により本サービスの提供を廃止した場合、別途定める年次プランの利用料金を当社に支払済みのユーザーに対しては、当社は、利用料金の365分の1に未経過期間(本サービスの提供の廃止日から本契約の有効期間の満了日までをいいます。)の日数を乗じて得た金額を返金します。なお、別途定める追加アカウント料金を当社に支払済みのユーザーに対しては、当社は、追加アカウントごとに計算した、追加アカウント料金を当該月の日数で除した金額に未経過期間の日数を乗じて得た金額をすべて合計した金額を併せて返金します。

第 18 条 (再委託)

1. 当社は、本サービスの提供の全部又は一部を第三者に委託することができます。
2. 当社は、委託先による業務の遂行について、当社に故意又は重過失のある場合を除き、責任を負いません。

第 19 条 (秘密保持)

1. ユーザー及び当社は、本サービスの提供又は利用に関して知り得た相手方の秘密情報(本サービスに関するノウハウ、当社のシステムに関する情報、技術上又は営業上の一切の秘密情報を含みます。)を、厳重かつ適正に管理するものとし、相手方の事前の書面による同意なく第三者(当社の関連会社及び委託先を含みます。)に開示、提供及び漏洩し、又は本サービスの提供若しくは利用の目的以外に使用してはならないものとします。
2. 次の各号の情報は、秘密情報に該当しないものとします。
 - (1) 開示を受けた時、既に所有していた情報
 - (2) 開示を受けた時、既に公知であった情報又はその後自己の責に帰さない事由により公知となった情報
 - (3) 開示を受けた後に、第三者から合法的に取得した情報
 - (4) 開示された秘密情報によらず独自に開発し又は創作した情報
3. ユーザー及び当社は、相手方の指示があった場合又は本契約が終了した場合は、相手方の指示に従い速やかに秘密情報を、返却又は廃棄し、以後使用しないものとします。
4. 当社は、ユーザーの同意を得て当社の関係会社又は委託先にユーザーの秘密情報を開示した場合、当該関係会社及び委託先の当該秘密情報の取扱いについて一切の責任を負いません。
5. 第1項の規定にかかわらず、当社は、法令、裁判所、行政庁又は規制権限を有する公的機関の規則、裁判、命令、指示等により秘密情報の開示を要求される場合、必要な範囲で秘密情報を開示することができます。

第 20 条 (反社会的勢力の排除)

1. ユーザー及び当社は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者(以下総称して「暴力団員等」といいます。)に該当しないこと、及び次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該

当しないことを保証します。

- (1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること。
 - (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること。
 - (3) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってする等、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること。
 - (4) 暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められる関係を有すること。
 - (5) 役員又は経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること。
2. ユーザー及び当社は、自ら又は第三者を利用して次の各号のいずれかに該当する行為を行わないことを確約します。
- (1) 暴力的な要求行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - (4) 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為
 - (5) その他前各号に準ずる行為
3. ユーザー及び当社は、相手方が、暴力団員等若しくは第1項各号のいずれかに該当し、若しくは前項各号のいずれかに該当する行為をし、又は第1項の規定に基づく表明・保証に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、自己の責に帰すべき事由の有無を問わず、相手方に対して何らの催告をすることなく本契約を解除することができます。
4. ユーザー及び当社は、前項により本契約を解除した場合、相手方に損害が生じたとしてもこれを一切賠償する責任はないことを確認し、これを了承します。

第 21 条 (問い合わせ対応)

1. 当社は、本サービスに関するユーザーからの問い合わせに対して回答するよう努めますが、法令又は本規約上、当社に義務又は責任が発生する場合を除き、回答の義務を負いません。
2. 当社は、ユーザーからの問い合わせに回答するか否かの基準を開示する義務を負いません。

第 22 条 (地位の譲渡等)

ユーザー及び当社は、相手方の書面による事前の承諾なく、本契約上の地位又は本規約に基づく権利若しくは義務の全部又は一部につき、第三者に対し、譲渡、移転、担保設定、その他の処分をすることはできません。ただし、当社は、事業譲渡又は合併、会社分割その他の事由により事業を承継させる場合には、ユーザーの承諾を得ることなく、本契約上の地位又は本規約に基づく権利若しくは義務の全部又は一部を第三者に譲渡することができるものとします。

第 23 条 (個人情報の取り扱い)

本サービスにおいて当社が取得する個人情報の取り扱いに関しては、当社が定める「個人情報の取扱いについて」(https://usenworkwell.jp/docs/privacy_policy2.pdf)に基づき取り扱います。

第 24 条 (分離可能性)

1. 本規約の規定の一部が法令に基づいて無効と判断されても、本規約の他の規定は有効とします。
2. 本規約の規定の一部があるユーザーとの関係で無効又は取消となった場合でも、本規約は他のユーザーとの関係では有効とします。

第 25 条 (違反行為への対処方法)

1. ユーザーは、本規約に違反する行為を発見した場合は、当社に連絡するものとします。
2. ユーザーは、本規約に違反する行為への当社の対処について、異議を申し立てることはで

きません。

第 26 条 (本契約の契約期間)

1. 本契約の契約期間は、アカウント付与日から1年間とします。ただし、申込書に異なる期間を定めた場合、申込書に記載の期間が適用されるものとします。両当事者のいずれかから期間満了の1か月前までに本契約を更新しない旨の書面による通知がなされない限り、本契約は自動的に同条件で更新され、以後も同様とします。
2. 第10条(知的財産権)、第12条(第三者の知的財産権)、第14条第3項(解除)、第15条(非保証・免責)から第17条(本サービスの廃止)、第20条第3項及び第4項(反社会的勢力の排除)、第22条(地位の譲渡等)、第24条(分離可能性)、本条、第29条(準拠法)及び第30条(合意管轄)の規定は、本契約の終了後も有効に存続するものとします。

第 27 条 (本規約の変更)

1. 当社は、以下の各号のいずれかに該当する場合は、本規約を随時変更できるものとします。本規約が変更された後の本契約は、変更後の本規約が適用されます。
 - (1) 本規約の変更が、ユーザーの一般の利益に適合するとき。
 - (2) 本規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性及びその内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。
2. 当社は、本規約の変更を行う場合は、変更後の本規約の効力発生時期を定め、効力発生時期の前に、事前に変更後の本規約の内容及び効力発生時期をユーザーに通知、本サービス上への表示その他当社所定の方法によりユーザーに周知します。
3. 前二項の規定にかかわらず、前項の本規約の変更の周知後にユーザーが本サービスを利用した場合又は当社所定の期間内にユーザーが解約の手続きをとらなかった場合、当該ユーザーは本規約の変更に同意したものとみなします。

第 28 条 (第三者サービスの利用について)

本サービスは、別紙に定める第三者サービスを利用しており、提供データその他本サービスの利用に関するデータが各第三者サービス提供者に送信・保存・処理されることがあり、ユーザーは、これを承諾するものとします。ユーザーは、本サービスの利用にあたり、当社が本サービスのために利用する第三者サービスが定める諸規約(以下「第三者規約」といいます。)のうちユーザーに適用されるものを遵守するものとします。第三者規約には、別紙に掲げるもの(更新されたものを含みます。)が含まれますが、これらに限られません。

第 29 条 (準拠法)

本規約に関する準拠法は、全て日本国の法令が適用されます。

第 30 条 (合意管轄)

ユーザーと当社との間における一切の訴訟は、訴額に応じて東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 31 条 (その他)

1. ユーザーは、本規約に定めのない事項について、当社が細目等を別途定めた場合、これに従うものとします。この場合、当該細目等は、本規約と一体をなします。
2. 細目等は、当社所定の箇所に掲載した時点より効力を生じます。
3. 細目等と本規約の内容に矛盾抵触がある場合、細目等が優先します。

付則

2025年5月13日: 制定
2025年12月9日: 改定
2026年2月12日: 改定

2026年6月25日:「U-Buddy 利用規約」から「U-Buddy Chat利用規約」に名称変更のうえ一部改定

2026年7月8日:改定

【別紙】第三者サービス・規約

(1) Google LLC

- ・Google利用規約:
<https://policies.google.com/terms>
- ・生成AIの使用禁止に関するポリシー:
<https://policies.google.com/terms/generative-ai/use-policy>
- ・Google API利用規約:
<https://developers.google.com/terms>
- ・Gemini API追加利用規約:
<https://ai.google.dev/gemini-api/terms?hl=ja>

(2) OpenAI OpCo, LLC

- ・OpenAIサービス契約:
<https://openai.com/ja-JP/policies/services-agreement/>
- ・使用に関するポリシー:
<https://openai.com/ja-JP/policies/usage-policies/>

(3) Anthropic, PBC

- ・Usage policy:
<https://www.anthropic.com/legal/aup>

(4) さくらのAI Engine

- ・さくらのAI Engineサービス約款:
https://www.sakura.ad.jp/corporate/wp-content/themes/sakura-corporate/assets/pdf/yakkan_ai-engine.pdf